

【KEIO SFC GUIDE 2010 正誤表・追補版】

2010/03/18 現在

2010/03/23 現在

2010/09/06 現在

* 今後、内容に訂正・追加があった場合は A 館 1 階掲示板に掲示します。必ず確認してください。

1 . KEIO SFC GUIDE 2010

ページ	誤	正
P. 13	広報活動について A . 掲示板の利用 【申請資格】 正課関連の掲示期間 : 当該学期のみ	広報活動について A . 掲示板の利用 【申請資格】 正課関連の掲示期間 : 当該学期のみ
P. 28	2 . 施設の利用について (1) 教室 【申請資格】 正課関連の特別教室 教室利用 : 夜間残留 :	2 . 施設の利用について (1) 教室 【申請資格】 正課関連の特別教室 教室利用 : × 夜間残留 : ×
P. 29	2 . 施設の利用について (1) 学生食堂 【申請資格】 ノース食堂	削除 (サウスのみ予約可能)
P. 29	2 . 施設の利用について (1) 学生食堂 【申請手順】 ~	2 . 施設の利用について (1) 学生食堂 【申請手順】 学事窓口にて、台帳に記入後、申請書を受け取る
P. 58	(2) 2010 年度履修申告期間 日吉設置科目 (学事 web システムによる履修申告はできません)	(2) 2010 年度履修申告期間 日吉設置総合教育科目 (学事 web システムによる履修申告はできません)
P. 79	他学部他研究科学生の履修を制限する科目 (学部) 三田 経済学部 学部 3 年生以上	「NPO 経済論 b」を追加

2 . KEIO SFC GUIDE 2010 (講義案内)

< 科目ごとの変更 >

ページ	誤	正
P. 41	ドイツ語 担当専任教員 太田達也	削除
P. 52	01002 環境情報学の創造 (秋 2 単位) 村井 純・大前 学・脇田 玲 科目概要: 詳細未定	環境情報系 (環境デザイン、人間環境科学、先端生命科学、先端情報システム、先端領域デザイン) の各領域における問題発見・解決のパラダイムについて学習する。講義は 4 つの演習と最終プレゼンテーションから構成される。 演習では、どの研究プロジェクトでも共通に求められる「物を作る能力」「そのための仕組みや構造を考える能力」の獲得を目指す。これからの社会で求められる能力は、書籍からの受け売りの知識や言葉遊びではなく、身体を通して思考し、問題を発見・解決していく能力である。 すなわち、この講義では、演習を通じて「創造」を自らの手で実現するための基礎的なトレーニングを積むことを主眼とする。そして、受講生自身が手を動かして成し得た経験とそれに伴う知識を獲得することで、経験に基づかない概念のむなしさを知るとともに、物を作ることの喜びを感じてもらうことを主眼に置いている。環境情報学部生としての今後の 4 年間で何を学ぶべきかを考える際の土台となる意識を醸成する。
P. 54	03030 政策デザインワークショップ	履修条件: 6 月 19 日に実施予定の集中講義に参加可能であること。 科目概要: 戦後 60 年以上を経て、更には最近の金融危機、世界的な

	(春 2 単位) 谷内 正太郎 科目概要: 詳細未定	景気後退の下で日本という国家、社会の各方面で停滞感、閉塞感が強まっている。このまま手をこまねていけば、日本の活力は失われ、相対的な国力、国際的地位、存在感の益々の低下は不可避である。今必要なことは、私たちが危機意識を持って態勢を立て直し、突破口を見出し、再び坂の上の雲を求めて足を踏み出すことである。特に、未来を背負って立つべき若者が人間力を身につけつつ力強く成長していくことが不可欠である。日本外交に何らかの形で参画しようという志を持った学生諸君の切磋琢磨の場として本演習を活用したい。 本演習では、このような問題意識を持って、日本という国家のあるべき姿を模索し、わが国の外交政策、特に近隣諸国との関係について、大局的、長期的かつ複眼的に考察する。 開講場所: SFC 授業形態: 講義、実習・演習
P. 57	03120 学習環境デザインワークショップ (春 2 単位) 担当教員: 未定 科目概要: 詳細未定	(秋 2 単位) 島田 徳子 科目概要: 言語学習環境デザインの事例とその背景にある理論について理解を深めた後に、具体的な学習者プロフィールを想定したデザイン課題に取り組むことにより、言語学習環境デザインに必要な基本的知識とノウハウを身につけることを目指す。主に、次のような内容を扱う。 ・これまでの言語学習体験を振り返り、言語学習の役割を再考する ・言語学習用教材の事例と、その背景にある理論を理解する ・世界の言語教育の潮流をふまえた学習環境デザインについて考える ・グループに分かれてデザイン課題に取り組む ・デザイン課題発表と最終レポート提出
P. 58	03140 ライティング技法ワークショップ (春 2 単位) 佐藤 和歌子 履修条件: 未定 科目概要: 詳細未定	履修条件: ガイダンス時に履修課題(『文藝春秋』四月号 77 頁～93 頁の巻頭随筆を読み、一番おもしろいと思うものについて 400 字前後で感想を記す。A4 用紙を使用)を必ず提出すること。初回に持参できない場合は、理由を明記の上、初回授業開始時刻前までに次のアドレスにメールで送付すること。 wwwac@sfc.keio.ac.jp 科目概要: 日本語で書かれたエッセイを読み、その技術を分析し模倣することで、エッセイの書き方を学ぶ。全 6 回の課題提出(800 字×5 回、2000 字×1 回)と講評・合評会への参加が求められる。 履修希望者は、ガイダンス時に履修課題(『文藝春秋』四月号 77 頁～93 頁の巻頭随筆を読み、一番おもしろいと思うものについて 400 字前後で感想を記す。A4 用紙を使用)を必ず提出すること。初回に持参できない場合は、理由を明記の上、初回授業開始時刻前までに下のアドレスにメールで送付すること。 wwwac@sfc.keio.ac.jp
P. 59	03140 ライティング技法ワークショップ (秋 2 単位) 福田 和也 科目概要: 詳細未定	科目概要: 「作品」としての、文章に挑みます。 今年は、戦前の共産党をテーマに小説を書いて貰います。
P. 60	03180 ネットワークコミュニケーション実践 (秋 2 単位) 田中 美乃里 科目概要: 詳細未定	科目概要: 多様化するインターネットを介したコミュニケーションツールについて、それぞれの特性や適性について学びながら、それらのネットコミュニティの活用方法を模索する。ソーシャルネットワーキングシステム(SNS)、twitter、電子会議室、その他の様々なネットワークコミュニケーションツールを用いて、問題意識や興味関心を喚起させ、人とつながることや、人とのコミュニケーションや摩擦を経て変化することを体験しながら、最終的に何らかの社会的価値を生み出すプロセスを実践していく。 この授業では、特に地域社会におけるネットワークコミュニケーションにフォーカスし、情報化社会の中にある地域活性や地域の課題解決のヒントを探る。
P. 67	10010 NPO の設立と経営 (春 2 単位) 中川 祥子 履修条件: 未定 科目概要: 詳細未定	履修条件: NPO や NGO、social enterprise、civil society、social economy などといった、“Third-Sector”を構成する組織及びその活動領域に関心を持っていること。なお、履修者数は 40 名までに制限します。 科目概要: 縮まることのない貧富の差、増加する失業者、自由と民主主義を求めて繰り上げられる戦闘...これら今日の世界で発生している問題は、NPO に対し、そのボランタリー性と“civility”を活かして、満たされないニーズの充足や human security の確保、dignity と respect に富んだ新たな社会・経済システムの提示などといった多様な役割を果たすことを求めていると言えるだろう。では、NPO が、こうした multiple player として機能し、どんな人も安心して生きていくことのできる“inclusive society”の実現に寄与するには、いかに自らのビジョンとポリシーを確立し、組織と事業をまわしていけばよいか。異なる行動原理や価値観を有するアクターとも手を携えていけばよいか。よりよい明日に向けての学びのプロセスを構築していけばよいか。本講義は、

		これらの問いに対し、理論と実践の両面から考える。
P. 67	10040 ソーシャルビジネスプランニング (春 2単位) 広石 拓司 科目概要: 詳細未定	これまで政府などの公共機関や財団などの公益法人が担うべきだと考えられていた社会課題(福祉、環境対策、教育、貧困、国際協力など)を扱うビジネスは、ソーシャルビジネスと呼ばれ、世界的に注目を集めています。 本授業では、将来、自ら社会起業を志す学生、NPO、企業、行政など幅広い組織で社会性の高い事業に取り組みたい学生を対象に、ソーシャルビジネスの発想と視点を学んだ上で、自分とチームのテーマをもとに、ソーシャルビジネスのプランニングを実際に行い、発表するプロセスを行う中で、社会性の高いビジネスの設計と立ち上げの方法を学びます。 少しでもいい社会を創るために自ら動いていきたい学生の参画を待っています。
P. 72	10210 リーガルライティング (秋 2単位) 玉井 克哉 科目概要: 未定	科目概要: 春学期の「リーガルマインド」に引き続き、法律というものがどういうものであるかを実際に体験してもらうための、入門を行います。入門というのは、「概説」とは違います。いくら水泳の種類や技法の解説を聞いても、実際に水に入らないと、泳ぎはうまくなりません。この授業では、泳いでもらいます。また、うまくするには努力が必要です。時間の許す範囲内で、努力の仕方も取り扱います。 実際に学ぶことを重視するので、定刻通りに授業が終わらないことも多くなります。2～3回に一回は、6時限目に食い込みます。 まじめに「入門」する気さえあれば、特に必要なことはありません。まったくの初学者にも配慮します。法律の勉強というのは外国語と似ていて、努力すれば誰でもできるようになるというのが、教師生活 25 年の実感です。法律を使った職業に就くことを検討中の人は、どういうものかを見るために参加していただくとよいかもしれません。
P. 72	10240 立法ワークショップ (秋 2単位) 関 啓一郎 高田 義久 科目概要: 未定	科目概要: インターネットに関係して最近注目されている課題を題材として、制度的解決に向けた政策立案プロセスについて実践的に学ぶワークショップです。 国会で審議される法律案には、政府が提出する法案(内閣提出法案)と国会議員が提出する法案(議員立法)があります。 このうち、内閣提出法案については、法案提出府省にて、外部の有識者などから構成される審議会・研究会にてまとめられた答申や報告書等を基に法案が策定されるケースが多いのが現状です。 本ワークショップでは、立法に関する基礎的な知識(法律制定までの過程等)を学ぶとともに、インターネットに関する課題を題材として、課題発見の方法、解決手法の選択、関係者意見の集約と合意形成について、受講者による「研究会」演習を行うことで、「法律はどう作るのか」について学びます。
P. 73	10320 経営分析 (秋 2単位) 石田 晴美 前提科目: 未定 同一科目: 「経営分析論」 科目概要: 未定	前提科目(推奨): (10300)組織経営の会計 (10310)企業会計論 関連科目: (10050)経営戦略 同一科目: 「経営分析論」*この科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。 科目概要: 企業は、自らの財政状態、経営成績等を明らかにするために財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等)を外部に公表している。財務諸表は、企業の過去と現在の状態を明らかにし、将来のさまざまな意思決定を行ううえで有用な情報を提供する。しかしながら、財務諸表がいくら有用な情報を含んでいても、利用者がそれを適切に理解できなければ意味がない。本講義では、企業の財務諸表を読み解くうえで必要最低限の会計知識を学習したうえで、実際の企業の財務諸表を複数取り上げ、その基本的な分析手法を習得し、財務諸表から企業を理解する力を養う。
P. 77	12060 コンピュータミュージック2 (秋 2単位) 小林 良穂 科目概要: 未定	科目概要: 本講義では、作品制作を通じ、デジタル音響処理、デジタル音響合成といったコンピュータ特有の音響表現法の習得を目標とする。 受講者は、音響情報処理ソフトウェアである Max/MSP を利用して音響処理や音響合成の基礎知識を身に付け、シーケンサー等の一般的な音楽制作ソフトウェアや市販のシンセサイザーでは実現の難しい、様々な音楽構造の生成や音色の合成方法を学ぶ。こうした技術を学ぶことで、コンピュータミュージックの可能性や魅力に触れ、自由な発想での音楽/音響の作成が可能になることが期待される。 また、本講義で取り上げる内容は、メディアアート作品や映像音響作品などの音響表現を利用した種々の作品制作に応用可能な知識/技術であるため、当該分野に興味を持つ学生の履修も歓迎する。 履修に際して、「コンピュータミュージック 1」を履修済みであるか、それに相当するデジタル音響の知識を身に付けていることが望ましい。
P. 80	12200 デザイン言語ワークショップ(観察・定着) (春 2単位) 佐々木 一晋	デザインプロセスにおいて、周辺世界や物事に内在する様々な現象(状態や変化など)を読み解くためには「観察の技法」が重要な意味をもつ。望遠/顕微鏡や計測機器などの観察技術の向上により、従来、眼に見えなかった「問題」や「可能性」が可視化され、デザイナーは未

	科目概要: 詳細未定	<p>知なる事象へのアプローチが可能となる。その「観察」というフィールド指向のアプローチは「デザイン」という実践的文脈にどのように適用することができるのだろうか。</p> <p>本ワークショップでは、観察プロセスを通じて道具や観察装置を試行的に運用させながら、自らで課題の本質を捉える能力を修得することを期待している。</p>
P. 80	<p>12240 デザイン言語ワークショップ(映像制作) (春 2 単位) 山本 大輔 科目概要: 詳細未定</p>	<p>関連科目: (45200) デザイン戦略(ムービングイメージ) (35120) ムービングイメージデザイン</p> <p>前提となる知識: この授業は、映像デザインの導入・入門授業です。</p> <p>履修条件: 特になし。ワークショップ形式の少人数制授業のため、選抜を行います。</p> <p>同一科目: 「デザイン言語ワークショップE」「デザイン言語演習Ic」*これらの科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。</p> <p>科目概要: 三次元の空間をある二次元のフレームで切り取り、それらをつなぎ合わせることで、ストーリー、メッセージ、感情を伝える映像表現には絵画や写真から引き継いだ、あるいは映画の誕生から獲得してきた様々な映像の技法(デザイン)が存在します。そうした技法を意識的に分析し、それらを実際に作品制作で試しながら自分なりの表現を見つけることを主な目標とします。また、制作に取り組むことで、撮影や編集における基礎的な知識・技術を習得します。</p> <p>開講場所: SFC</p> <p>授業形態: 講義、実習・演習</p>
P. 81	<p>12270 デザイン言語ワークショップ(アルゴリズム) (春 2 単位) 齋藤 達也 同一科目: 「デザイン言語ワークショップJ」 科目概要: 詳細未定</p>	<p>履修条件: 学部 1, 2 年生が優先して受講可能とする。</p> <p>同一科目: 「デザイン言語ワークショップ」*この科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。</p> <p>科目概要: この授業では、コンピュータを「スケッチの道具」として使う、ということ学びます。スケッチは、対象物(物理的なモノや概念、理論)の素描を行うことで、その対象物についての認識を他者へ向けて表現をする、あるいは、対象物についての理解を深めるという自分自身に向けられた行為として行われます。授業ではデザインの方法論だけでなく、認知科学、知覚心理学などの分野でデザインや表現に関係して分かっている事例も紹介しながら、演習を通じて、その考え方を実践的に体得していきます。課題は大変ですが、今後、モノを作っていくためのきっかけとなる何かを見つけれれることを保証します。(受講者数を 15 名に限定します)</p>
P. 84	<p>13070 ネットワークプログラミング(C) (春 2 単位) 中村 修 科目概要: 詳細未定</p>	<p>前提科目(推奨): (13010) コンピュータ基礎とプログラミング</p> <p>前提となる知識: この科目は、2004 年度以降入学者は認定試験に合格していることが前提(2003 年度以前に入学し、そのまま同一学部在籍している場合は該当せず)。</p> <p>科目概要: ネットワークを介したソフトウェアの基本的な構造を理解し、ネットワークを用いたソフトウェアが作成できるようにする。基本的なプログラミング言語は、C 言語を用い、Socket Interface を用いたネットワークプログラミングを習得する。毎回授業毎に課題の提出を通して、プログラミングに慣れてもらう。なお今期は IPv6 アドレスを極力利用し、プログラミングをする。</p> <p>開講場所: SFC</p> <p>授業形態: 講義、実習・演習</p>
P. 87	<p>14090 多変量解析2 (春 2 単位) 芳賀 麻誉美 科目概要: 詳細未定</p>	<p>本講義は「データ分析」を前提科目として開講する。</p> <p>講義では、パス図に基づいて、回帰分析、重回帰分析、主成分分析、探索的因子分析、パス解析を共分散構造分析(構造方程式モデル)で統一的に理解しながら復習する。</p> <p>次にパス図を使って、検証的因子分析、多重指標モデル、MIMIC モデル、平均構造モデル、多母集団モデルなどを解説する。</p> <p>授業ではパソコンを用いて、AMOS やフリーソフトウェアを利用しながら実習を行う。</p> <p>また、グラフィカルモデリングやベイジアンネットワークなどについても簡単に紹介する。</p>
P. 87	<p>14100 多変量モデリング (空き 2 単位) 芳賀 麻誉美 科目概要: 詳細未定</p>	<p>この授業はデータ分析を前提科目として開講する。</p> <p>モデリングとは何かといった解説を多変量解析 2 の概要を復習しながら学ぶ。</p> <p>その後に、AR モデル MA モデル ARMA といった時系列解析手法、動的因子分析モデルや時系列因子分析モデルと言った多変量時系列分析手法を構造方程式モデリング(共分散構造分析)を通して学ぶ。</p> <p>その後、潜在クラスモデル、潜在混合分布モデルといった応用モデルについても、構造方程式モデリング(共分散構造分析モデル)の枠組で統一的に勉強する。</p> <p>授業ではパソコンと統計解析ソフト(AMOS、SAS、R)を使った演習を行う。</p>

P. 88	14180 空間分析 (秋 4単位) 福井 弘道・濱本 両太・古谷 知之・大島 英幹 同一科目:未定 科目概要:詳細未定	同一科目:「空間分析A」「空間分析B」*これらの科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。 科目概要:人間生活や自然現象はかならずといっていいほど地理空間において広がられています。また、インターネットの情報も7割以上が位置と関連すると言われていて。このような空間情報をコンピュータで管理・分析・表示し、地球環境の開発と保全、都市・地域の計画・管理、企業の経営とマーケティングなどの問題解決を助けてくれるのはGIS(地理情報システム)です。この授業はGISの原理を学び、ArcGIS(GISのソフトウェア)を使って演習し、空間データを分析・処理・表現する方法を学びます。 特色:1コマ目は講義、2コマ目は演習。前半はGISの原理と基本操作を学び、後半は実データを用いた分析を行い、グループで最終発表を行います。
P. 97	15251 マレー・インドネシア語インテンシブ1 (春・秋 4単位) スランティ トリスナワティ トク、スハルディアント 野村亨 科目概要:詳細未定	科目概要:この授業では、すでにマレー・インドネシア語ベーシックを前学期までに修了している諸君を前提として授業を行います。この授業では、日本人教員は主としてマレー・インドネシア語の基礎文法を日本語を用いて説明し、インドネシア人教員は直接インドネシア語を用いて会話を中心として練習を行います。このレベルでは、ベーシックで学んだ基礎的な文法事項に続いて、接辞など、中級レベルの文法事項を中心に学んでゆきます。
P. 99	15481 日本語スキル (春・秋 2単位) 秋山 敬子・寺田 裕子・伴野 崇生・平高 史也 科目概要:詳細未定	秋山 敬子・寺田 裕子・伴野 崇生・平高 史也 島田 徳子 科目概要:この授業はプロジェクトワークです。学期が始まったら、まず履修者が取り組みたいプロジェクトを決めます。そのプロジェクトを進めるために用いる日本語によるコミュニケーションを通して、コミュニケーション能力を高めることを目的としています。授業のテーマやスケジュールは履修者が相談して決めます。過去のプロジェクトの例をいくつか挙げておきます。 「日本を含むアジアの学生による討論会の開催」、「留学生向けのSFC授業ガイド」、「SFC中国語履修者を対象とした中国紹介」、「日本語教員を対象とした直接法による韓国語、中国語、ベトナム語の授業」、「研究テーマのプレゼンテーションについての技法」など。
P. 100	15611 プロジェクト英語A (Project) (春 2単位) 田中 茂範 科目概要:詳細未定	この授業(プロジェクト英語:Acquiring task-handling competences in English)では、米大統領演説、ダボス会議でのやりとり、映画俳優とのインタビューなど生の英語を取り上げ、英語で自在に表現するために必要なものは何か、英語でどう表現するかについて実践的に考え、一人ひとりの英語を機能的なものにしていくことを目的とする。ウェブサイトを利用した語彙力の強化、英語を自然に理解し、自然に使うための方法を実践を通して身に付けていく。マルチメディアな授業展開を行うところに特徴がある。
P. 104	20100 サブカルチャーと社会認識 (秋 2単位) 福田 和也 科目概要:詳細未定	科目概要: 未編集の原資料に広く触れることで「文化」として編成される手前の事象を捉える試みをします。 今年は、右翼、民族主義文献を読みます。
P. 105	20140 文学の世界 (春 2単位) 福田 和也 同一科目:未定 科目概要:詳細未定	同一科目:「現代文芸」*この科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。 科目概要:詩学の展開と、詩の実作に触れつつ、言語による表現の意義を考えます。 今回は、近代日本の俳句をやります。受講希望者は、『子規句集』岩波文庫を、第二回講義までに、購入しておいてください。 開講場所:SFC 授業形態:講義、実習・演習
P. 108	30050 社会安全政策(治安) (春 2単位) 小林 良樹 科目概要:詳細未定	関連科目:(42040)安全保障政策 科目概要:・「社会安全政策論」とは、簡単に言えば「国民の期待に応じて、社会の犯罪情勢を良好に維持する(或いは向上させる)ためにはどのような施策を採れば良いか」という課題への解決策を研究討する、或いは、そうした分析・検討を適切に行うための「フレームワーク」を研究するための学問領域です。 ・本講義では、最近の治安上の幾つかのトピックに関して、「異なったアクターの間の立場の違いは何か」、「立場が異なる各アクター間の調整・連携を如何に行えば良いか」という視点を中心に据えつつ、対応策の在り方を分析・検討して見たいと思います。 ・また、こうした議論の前提として、近年の犯罪情勢の悪化の原因や犯罪学の理論的な変遷の動向等についても触れて行きたいと思います。 ・こうした作業を通じて、治安上の各種のトピックの背景にある複雑な諸要素を分析・検討する上での「フレームワーク」を身に付けて頂ければ幸いです。

P.110	30190 地域政策 (秋 2 単位) 大前 孝太郎 科目概要:詳細未定	科目概要:近年の地域活性化の取組においては、その地域に存する固有の資源を最大限活用する、課題解決の担い手として、民間企業、大学、NPO や、各種アーティスト、クリエイターなど、多様な主体が参加・連携する、といった点にウェイトをおいているものが多くみられる。しかし、そうした取組の中には、一過性で終わってしまい、当該地域の資源配分に影響をもたらすところまで行かないケースも少なくない。 本講義においては、上記 と についてのレビューやケース研究を行うとともに、地域活性化のためのひとつの有効な方法論として、地域の資源や活動等に係る情報を魅力的なコンテンツとして発信することの可能性を実践的に探求する。地域における様々なニーズをフィールドワーク等を通じて把握したうえで、グループに分かれてコンテンツ企画制作を実践していくことを通じて、地域の情報発信の意味を考えていく。
P.110	30210 地域計画実践論 (秋 2 単位) 金安 岩男 科目概要:詳細未定	地域計画の計画実践につき、地方自治体での事例をもとに学ぶ。プロジェクト、プロデューサー、ファシリテーターなどの考え方を計画実践に導入する。企画書、見積書、契約書、マネジメント、審議会、計画策定、分析的アプローチ、発想的アプローチ、計画書作成など、計画に必要な一連のプロセスにつき、プロセス・プランニングの立場から学習する。
P.112	31060 民法(財産法) (秋 2 単位) 塩澤 一洋 科目概要:詳細未定	前提科目・関連科目: 〔関連科目〕41070:民法演習 科目概要:民法はすべての法律の基礎であり、法的思考方法のエッセンスに満ちています。なかでも「財産法」と呼ばれる分野は、日常生活からビジネスまで、人間の社会的活動のすべてに関係する規範の体系です。たとえば、コンビニでお茶を買う、レストランで食事をする、電車に乗る、貸 CD を借りる、道で人にぶつかって怪我をする(させる)……。いずれも民法が扱う対象です。財産、所有、契約、債権、債務、不法行為……。これらを体系的に理解していく学問が民法学であり、知的財産法の基礎でもあります。 民法とは何か、民法学がいかに面白いかを、体系的、構造的に体感していただきます。たくさんの問いかけをしますので積極的な参加を期待しています。
P.113	31070 民法(家族法) (春 2 単位) 羽生 香織 科目概要:詳細未定	近年、家族をめぐる状況は大きく変化しています。判例においても、家族観の変化がうかがえます。社会や実務の変化に対応するため、家族法の改正に向けた議論も再燃しています。家族について法律がどのような制度・仕組みを設けているのかを考えなければなりません。家族の関係性が良好であれば良いのですが、ひとたび悪化するとこじれてしまい紛争解決が複雑化してしまいます。家族がかかえる問題を法律がどのように解決しようとしているのかを考察します。
P.113	31080 企業法(会社法) (春 2 単位) 柴原 多 科目概要:詳細未定	この講義では、企業にかかわる様々な法律問題について、まったく初めて勉強される方を対象に会社法を中心に講義を進めます。多くの皆さんが卒業後に就職されるであろう株式会社を中心に、株式・機関・資金調達・企業再編といった基本的問題から企業買収防衛や内部統制といった時代的なトピックまで幅広く取り上げていきたいと思います。また、会社法以外の労働法・倒産法等についても、重要な問題を取り上げてみたいと考えています。経済社会を担う企業について学ぶことは、皆さんがどのような分野に進まれたとしても、必ず役に立つ知識であると思っています。
P.113	31090 企業法(ベンチャー関連法) (秋 2 単位) 玉井 克哉 科目概要:詳細未定	科目概要: Google は、1998 年の創業以来約10年で、時価総額でトヨタ自動車を上回った。アメリカ経済の活力は、振興のベンチャー企業が担う部分が大きいが、日本経済の現状はそれと対照的であり、時価総額ランキングでは、トヨタ自動車、NTT、三菱 UFJ が常に上位を占める。 この授業では、まず、そうした経済構造の変化を、グローバルな時代相の変化の一環として見る視座を確立する。次いで、ICTやエレクトロニクス産業での最先端の話題を材料に、技術がどのように企業活動に生かされてきたのかを解説する。また、医薬品産業やバイオ・ベンチャーにおける知財戦略について、iPS 細胞など最近の話題を題材に解説する。 授業の半ばと最後に学生諸君とフリーディスカッションの時間を設け、授業内容の定着を図る。
P.114	31130 ミクロ経済1 (秋 2 単位) 和田 良子 科目概要:詳細未定	科目概要:初級レベルのミクロ経済学を丁寧に学びます。 市場構造と価格メカニズム、消費集合および選好と効用関数、市場の失敗、パレート最適およびアローの一般不可能性理論、不確実性と期待効用理論、アレのパラドックスと主観的効用関数、などミクロ経済学の基礎的な内容を解説します。 3 - 4回の講義に1回程度課題をだします。 ミクロ経済学は、論理性が高く、世界を経済学がどうとらえているのかを知る上で不可欠な分野です。ミクロ経済学という普遍的ツールによって、現代の重要な市場であるインターネットオークションや、環境問題、労働市場や結婚市場について、どのような理解が可能なのか、折にふれて解説していきます。

P.117	32040 安全保障と国際紛争 (春 2 単位) 神保 謙 履修条件: 未定 同一科目: 安全保障論 科目概要: 詳細未定	前提科目(推奨): (32010) 国際関係論 (03040) 外交政策ワークショップ 関連科目: (32030) 外交と戦略 (42040) 安全保障政策 履修条件: 毎回の授業に出席し、積極的に討論に参加し、中間・最終レポートを仕上げる意欲のある学生 同一科目: 「安全保障論」*この科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。 科目概要: 安全保障は古来より国家の最も重要な課題であった。今日の安全保障論は、国防(Defense)の概念から、多面的な安全保障(Security)の概念への変遷を背景として、ポスト・ポスト冷戦期の新しい概念構築を要請されている。またその前提として、冷戦後の複雑化した地域紛争、民族紛争、失政国家の内戦などの分析とともに、9.11テロ後の非対称アクターの台頭による国際紛争の新しい次元を理解する必要がある。本講義では、特に冷戦後の国際安全保障と国際紛争の特徴について、1)安全保障の概念と政策体系、2)主要国の安全保障政策、3)国際紛争のスペクトラム分析、4)冷戦後・9.11後の紛争の特徴、5)予防・抑制・抑止・戦争・停戦・平和構築の諸段階、6)対テロ戦争と安全保障論の新展開といった各論点に絞って検討する。
P.119	32130 地域と社会(アジア・大洋州) (秋 2 単位) 神保 謙 同一科目: 「リージョナルアナトミー論 A」「リージョナルアナトミー論 B」「リージョナルアナトミー論 C」 科目概要: 詳細未定	関連科目: (42010) グローバルエコノミー論 (42050) 地域統合論 (32020) 国際政治経済論 (32160) 地域と文化(アジア・大洋州) 同一科目: 「リージョナルアナトミー論 A」「リージョナルアナトミー論 C」「リージョナルアナトミー論 G」*これらの科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。 科目概要: 地域(region)は伸縮する。北東アジア・東南アジア・東アジア・アジア太平洋など、様々な地域枠組みには地理的に区分された概念に加えて、政治・経済・社会・文化などの諸側面からの「地域化」(regionalization)が作用する。また地理的近接性のみならず、互いの利益や協力の形成によって成り立つ機能的な地域(functional region)も存在する。そして、地域が政治・経済的統合を指向することを地域主義(regionalism)とおい、また地域を「われわれ」という一つのアイデンティティでとらえたときに共同体(communitiy)の議論が浮上する。地域はダイナミックに伸縮するのである。本講義はこのようなダイナミックな地域像を主にアジア太平洋域内を中心に取り上げる。具体的には1)地域主義の概念の生成と発展、2)アジアにおける地域メカニズムの特徴、3)グローバリズムと地域主義の関係、4)東アジア共同体の可能性などの各論点にしばって検討する。
P.119	32140 地域と社会(欧州・CIS) (春 2 単位) 廣瀬 陽子 科目概要: 詳細未定	科目概論: 本授業は、欧州・CISの地域と社会のあり方を総合政策的に学ぶことを目的としている。担当者の専門は旧ソ連・CISであり、また欧州地域を中心に扱う授業が別途あるため、本授業では旧ソ連・CISを中心に扱うが、欧州のファクターも重視していく。授業は担当者による講義、ゲストスピーカーによる講演、グループワークとその報告の3本柱で進めていく予定である。本授業のように地域のことがらを扱う「地域研究」は、まさに総合政策学であり、地域研究を行うためには、当該地域の政治、経済、国際関係、歴史、民族、社会、宗教、紛争、環境問題、エネルギー問題などを総合的に考えていく必要がある。そこで、当該地域についてより多面的、包括的に授業で扱い、当該地域の理解を深めていくことを目指す。
P.120	32190 宗教と現代社会 (秋 2 単位) 藁谷 郁美 科目概要: 詳細未定	藁谷 郁美 鈴木 無二 前提科目・関連科目: 【関連科目】20130:現代思想の世界 【関連科目】20080:古典と現在 【関連科目】32170:地域と文化(欧州・CIS) 【関連科目】32160:地域と文化(アジア・大洋州) 【関連科目】32200:言語とヒューマニティ 【関連科目】42110:現代文化探究 【関連科目】42120:文化共生論 【関連科目】42130:多文化社会論 【関連科目】42140:国民国家とナショナリズム 【関連科目】04060:ヒューマンセキュリティ 【関連科目】20050:身体論 【関連科目】20140:文学の世界 【関連科目】20180:歴史と文明 科目概要: 宗教は我々の生活に疎遠なものだろうか。常に世界中の情報で溢れる我々の生活環境は、宗教的要素を素通りして説明できるのだろうか。この問題提起を基礎に、本講義では西洋と日本の様々な分野における宗教的要素に光を当て、宗教のあり方を相対的に提示する。前者はヨーロッパ社会において表象される様々な側面を、ローマ・カトリック宗派およびプロテスタント宗派でほぼ二分されるドイツを例にとり、キリスト教的要素の表象として捉えなおす。後者は日本の

		歴史や文化に大きな影響を及ぼしてきた仏教を中心に、日本における宗教のあり方を探る。この講義を通して、私たちの社会をあらためて相対化する視点が提示できれば幸いである。
P.121	32220 言語論 (秋 2単位) ドルヌ, フランス 科目概要:詳細未定	科目概論: Qu'est-ce que dénommer ? Ce semestre, nous nous intéresserons au nom, à la dénomination en français, les noms de marques, le nom dans la publicité, le nom propre et le nom commun, le nom comme catégorie de discours, en comparaison parfois avec le japonais. Nous étudierons la problématique du nom telle qu'elle se présente en linguistique en l'étendant si possible à d'autres domaines comme la peinture, l'ethnolinguistique (le choix du prénom). Le but du cours est de faire réfléchir les étudiants sur le langage, il se déroule toujours en interactif.
P.130	35060 インターネットオペレーション (秋 2単位) 重近 範行 科目概要:詳細未定	前提科目・関連科目: 【前提科目(推奨)】04180:インターネット 【前提科目(推奨)】45090:インターネットシステム構成法 【前提科目(推奨)】35020:ネットワークアーキテクチャ 科目概要: インターネットを構成する要素と運用技術・監視技術に焦点を当て、具体的な事例を紹介しつつ、自律分散協調的な運用方法について学ぶ。 インターネットを運用するための基本的な技術について解説し、ネットワークの状況把握のためのソフトウェアの使い方やネットワークボロジ記述法を身につける。 またインターネットの発展による運用方法の変化やインターネットオペレーションの抱える問題点について議論する。
P.130	35100 ウェアラブルメディアデザイン (秋 2単位) 脇田 玲 科目概要:詳細未定	前提科目・関連科目: 【前提科目(推奨)】02030:情報基礎 【前提科目(推奨)】04210:デザイン言語 科目概要:布を用いた新しいデジタルメディアのデザイン手法を学びます。前半では、布を用いたメディア研究の最前線を海外の論文を中心に紹介します。後半では、導電性繊維や人工筋肉を用いたスマート素材をデザインし、プレゼンテーションしてもらいます。
P.133	40050 コミュニティインベストメント (秋 2単位) 科目概要:詳細未定	ソーシャルビジネス・社会起業家は、社会課題の解決にビジネスを通して挑む存在として、国内外で注目を集めている。彼らはビジネス事業者単独の力だけで課題に挑むだけでなく、資源提供者、支援者、地域社会、行政、そして顧客まで含めた幅広い関係者を課題解決のパートナーとしていた時に、最も大きな成果を出せるという特長を持つ。 本授業では、将来、自ら社会起業を志す学生、NPO、企業、行政など幅広い組織で社会事業に取り組みたい学生、活動支援をしていきたい学生を対象に、ソーシャルビジネスがハイ・インパクトを出すために必要なこととあるべき社会的投資・支援策について、研究書と事例分析のグループワークを中心に考察します。
P.134	40130 表象文化論 (春 2単位) 福田 和也 履修条件:未定 科目概要:詳細未定	履修条件:毎回指示されたレジュメを、講義日の午前0時まで提出すること 科目概要:テキストの一語、一語、一字、一字まで微分化して、分析する試みをします。 今回は、ドゥルーズ＝ガタリの『アンチ・エディプス』を、原書で読みます。受講希望者は、原書を購入しておいてください。
P.135	41070 民法演習 (秋 2単位) 塩澤 一洋 科目概要:詳細未定	前提科目・関連科目: 【関連科目】31060:民法(財産法) 科目概要: 目標は条文を「読める」と「使える」ようになること。民法に関する具体的な問題を取り上げながら、民法の理解を深めていきます。 深い含蓄を持つ個々の条文を、いかにして読み解いていくか。想像力を働かせて、論理的思考力を使い、具体的な事例を想定して、条文の世界を広げていきます。その過程で条文を深く読み取る術を身につけ、民法の体系を組み立てていき、民法が関係する事案に対して適切な条文を適用して問題を解決できる能力を磨きます。それが他の法律を読み解く力にもつながります。 民法の価値観とそれが描く世界観を共有し、壮大な民法の世界を味わっていきましょう。
P.139	42040 安全保障政策 (秋 2単位) 小林 良樹 科目概要:詳細未定	関連科目:(30050)社会安全政策(治安) 同一科目:「安全保障論」*この科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。 科目概要:・ 本講義は、安全保障政策の中でも特に「インテリジェンスの基礎理論」を学ぶことを目的とするものです。 ・ ここで言う「インテリジェンス」とは、「国家安全保障上の問題に関し

		<p>て政策立案者が判断を行うために提供される、分析・加工された情報」とでも言うものです。したがって、ここで言う「インテリジェンスの基礎理論」とは、「そうした情報を収集・分析・提供するためのメカニズム、組織、手法等は如何にあるべきか」という点を研究する学問です。(決して「007」のようなスパイ活動の細かいテクニックなどを学ぶようなものではありません。)</p> <p>・ 本講義の内容の概ねのイメージをつかむためには、2010 年度春学期及び秋学期の研究会(2):安全保障政策研究のシラバスが若干の参考になると思います。</p> <p>・ 昨年度(2009 年度)とは担当教員が代わっており、授業内容も大きく変わりますのでご注意ください。</p>
P.144	<p>比較体制論 (春 2 単位) 市川 顕 科目概要:詳細未定</p>	<p>本講義では、比較経済体制論・体制転換論・欧州化論・グローバリゼーション論・「第三の道」といった、体制にまつわるいくつかの議論を概観し、体制を形成するアイデアや目標は何か、また体制の構造や機能、作動メカニズムはどのようなものか、など体制の歴史・原理と政策・制度そして体制の実態について解説する。講義の前半では、冷戦構造下における計画経済体制について、また 1989 年以降の中東欧諸国の体制転換(計画経済体制から市場経済体制への移行)について重点的に講義する。講義の後半では、冷戦の終焉を一因とするグローバル化の進展と、そこで形作られてきた市場経済体制について理解を深める。その際、ギデンズらの言う「第三の道」の議論や、「持続可能な発展」の議論にも言及し、21 世紀型体制の在り方を展望する。</p>
P.157	<p>45090 インターネットシステム構成法 (秋 2 単位) 中村 修 前提科目:未定 同一科目:未定 科目概要:詳細未定</p>	<p>前提科目(必須):(04180)インターネット 前提科目(推奨):(35020)ネットワークアーキテクチャ 同一科目:「インターネット構成法」*この科目を進級、卒業あるいは修了に関わる科目の単位として修得済みの学生は、自由科目としての履修のみ可能。</p> <p>科目概要:自宅のネットワークから、大学のキャンパスネットワークや企業のネットワーク、そして全国を網羅するような ISP のネットワークなど様々なネットワークを、設計するための設計手法、ネットワークを構成する技術について講義する。</p>

【先端発見科目】

P.62 04010 公共政策 (秋 2 単位)

竹中 平蔵

授業形態:講義

詳細未定

【創造技法科目 - プログラミング】

P.82 13030 データ構造とプログラミング(B) (秋 2 単位) 中村 修

授業形態:講義

大規模なプログラムや高速動作が求められるプログラムを開発するためには、データ構造や、計算アルゴリズムに関するテクニックが必要です。本授業では、C 言語を用いて基本的なデータ構造をプログラミングできるようになるための基礎を学ぶ。具体的には、C 言語における変数、配列、構造体、ポインタなどを使いこなすことができるようになることを目的とする。

P.84 13080 記号処理プログラミング(D) (秋 2 単位) 伊知地 宏

授業形態:講義

関数型 / 記号処理用言語として定評がある Lisp を用いてプログラミングを学ぶ。Lisp は文法規則がきわめて単純で分かりやすい言語であり、複雑なデータ構造も簡単に書け、入出力に煩わされることもない。人工知能や自然言語処理、文書編集などの分野を中心に Lisp を用いた多くの実用的なプログラムが作られている。

授業の前半では Common Lisp を用いた初歩的な Lisp プログラミングを学び、後半では応用的なプログラミングとやや高度なプログラミング技法を学ぶ。ミニプロジェクトでは、比較的大きめの実用的な Lisp プログラムの作成を行なう。

演習課題を豊富に取り入れた実践的な講義を行なうので、「頭で理解する」だけでなく、「手を動かしてプログラミング」することを重視する。

つまり、講義と演習がセットになっているのが特徴である。

【創造技法科目 - ナレッジスキル】

P.89 14220 Webテキスト処理法 (秋 2単位) 東中 竜一郎

授業形態：講義

Webの発展に伴い、コンピュータで言葉を扱う「テキスト処理」の重要性が増している。本講義では、コンピュータがどのように言葉を扱っているのか、Webでどのように言葉が表されているのかを、基本的なテキスト処理の技法についての講義と、実際に自分自身の手でテキスト処理アプリケーションを作ることで学ぶ。本講義は複雑な自然言語処理の理論の深い理解は目的とせず、あくまでも、テキスト処理の基本的な技法を理解し、テキスト処理アプリケーションを作る楽しさや面白さを知ることが目的とする。

【先端導入科目 - 総合政策 - 社会イノベーション】

P.110 30150 マスコミュニケーション (春 2単位) 李 洪千

授業形態：講義

情報通信技術の発達とインターネットの拡大は、メディアの多様性をもたらし、新聞、放送に象徴されるマスコミュニケーションに大きな影響を与えている。この講義では、紙からインターネットに至までのメディアの変遷を、歴史、影響、未来の展望という視点から考える。具体的には、媒体と発展と近代化、マスコミュニケーションの効果（「皮下注射効果」「争点設定」「世論形成」）に関する研究、さらに、インターネットの影響に関する問題（「マスコミの危機」「双方向性」）とその現状について学ぶ。

【先端開拓科目 - 総合政策 - 公共政策】

P.135 41010 政策立案論 (秋 2単位) 小林 良樹

授業形態：講義

前提となる知識：本科目は、春学期開講の「社会安全政策（治安）」（30050）とほぼ同様の内容となる予定です。

履修条件：なし

- ・ 本講義は、「社会安全政策」を題材として政策立案のフレームワークを論じるものです。
- ・ 「社会安全政策」とは、簡単に言えば「国民の期待に応えて、社会の犯罪情勢を良好に維持する（或いは向上させる）ためにはどのような施策を採れば良いか」という問題への解決策を研究する、或いは、そうした分析・検討を適切に行うための「フレームワーク」を研究するための学問領域です。
- ・ 本講義では、最近の治安上の幾つかのトピックに関して、「異なったアクターの間の立場の違いは何か」、「立場が異なる各アクター間の調整・連携を如何に行えば良いか」という視点を中心に据えつつ、政策立案の在り方を分析・検討して見たいと思います。こうした作業を通じて、治安上の各種のトピックの背景にある複雑な諸要素を分析・検討する上での「フレームワーク」を身に付けて頂ければ幸いです。

【特設科目】

P.161 90523 囲碁 (春 2単位) 吉原 由香里

授業形態：講義、実習、演習

履修条件：全くの初心者であること

日本国内では1500年の歴史がある「囲碁」。現在、世界80カ国近くで親しまれている。

囲碁はルールはシンプルだが変化は無限。その奥深さからコンピュータより人間の方がはるかに強い。数字にしばらない感性の要素があるからか。

特設科目「囲碁」は受講者に囲碁の上達だけを求めるものではない。本科目の目的は、囲碁の中にある多様な世界観を知り、そこでどのような一手をなぜ打つのか、その論理と構想力を実践することを通して、戦略論と結びつく創造する行為とは何かを学ぶことである。カリキュラムの基本コンセプトにある創造性を重視する時、本特設科目はたんに囲碁そのものを学ぶ以上に、実践を通して学習される創造性の取得には十分に適した科目である。

P.161 90524 環境エネルギー情報論 (春・秋 2単位) 藤原 洋

授業形態：講義

この授業はインターネットを中心とした「デジタル情報革命」を推進し情報社会への大きな貢献をしてきた湘南藤沢キャンパスが、次なる産業革命と目される「環境エネルギー革命」の推進役となるために、必要な理念、技術、社会制度、マーケットなど広範囲に学ぶことを目的としている。環境エネルギー革命を推進する科学技術の基礎と原理について学習した後、インターネット技術によって実現されるエネルギーフローと情報フローとの関連性を定義し、今後必要となるエネルギー情報技術の標準化の方向性、および地球規模でのエネルギー情報社会のあり方を展望することを目的とする。インターネット技術を駆使して、地球規模でのエネルギーフローを計測・制御するためには、科学技術に関する本質的な理解、適切な制度設計、柔軟な発想と自らがイノベーションを起こす主体となる姿勢が重要である。

P.161 90525 DIGITAL LOGIC SYSTEM FUNDAMENTAL (秋 2単位)
タムリン, アフマド フスニ
授業形態: 講義

This class is a basic course on digital logic, covering the digital building blocks, tools, and techniques in the design of digital computers and other digital systems. The topics include the basic topics, including binary algebra and digital switching, combinatorial and switching logic circuits, as well as a more advanced topic: digital system design.

P.161 90526 CREATIVITY IN THE INTERNET AGE (秋 2単位) マラケ, カタリナ
授業形態: 講義

The objective of this course is to give students an overview of new ways of content creation and creativity in the digital age while familiarizing them with the basic principles of Copyright law. The class will address the details of Creative Commons licenses and discuss opportunities and challenges for the future of collaborative content in the Internet. It will be held in English and therefore also provide students with additional practice in English communication and writing skills.

It is planned to invite professionals who are engaged in creativity and innovation in various fields and give students the opportunity to meet, interact and discuss how creativity is determined by culture and society. The guest lectures and discussions will be held in English and/or Japanese.

P.161 90527 インターネット計測とデータ解析 (秋 2単位) 長 健二郎
授業形態: 講義

いまや社会基盤となったインターネットの現状や挙動を把握し、今後を予想することは、技術面のみならず投資判断や政策決定にとっても重要な課題である。

しかし、大規模複雑システムであるインターネットを把握することは難しい。インターネット全体を網羅する大規模な計測は現実的でない一方で、従来のサンプリング手法も適用できない場合が多い。さらに、技術的、社会的、経済的、法的にも多くの制約があり、その中で問題を解決する必要がある。

本授業は、インターネットの計測技術と大規模データ解析の概要について学び、情報社会で必須となる大量情報から新たな知識獲得をするための基礎能力を身につける。

P.161 90528 グローバルサイエンスとイノベーション (秋 2単位) 黒川 清
授業形態: 講義

本講義では、イノベーションがなぜ必要なのか、グローバル化が意味するもの、今後ますますグローバル化するであろう世界の諸問題に対するソリューションをどのように産み出し、模索し、発展させていくのかを議論し、学んでいく。

イノベーションとは『新しい社会的価値の創造』と定義可能である。イノベーションは、技術の発明やその応用、社会システムにおけるルールや規則の変革、そして、起業家精神に溢れる人材やイノベーター、『Change Makers』と呼ばれる起業家たちによって産み出される。これらの起業家達は、この相互接続された世界において劇的な変革を実現可能で、例えば少数精鋭であったとしても、最新の ICT 技術を駆使することで、以前よりも迅速に、そして広範に渡ってインパクトを与えることが可能になっている。

本講義における履修者は、「グローバルサイエンスとイノベーション」の参加者であり、パートナーであり、プレイヤーである。

P.161 90529 TECHNOLOGY IN EDUCATION, EMERGENCE OF A GLOBAL CURRICULUM (秋 2単位) 大喜多 優
授業形態: 講義

IT の応用が実用性だけでなくソーシャルな役割 (コミュニケーションツール) も果たすようになった。この講義ではさまざまなオンライン教育環境 (例: Adobe Connect, Second Life) 学びのプロセス (social learning process), 認知と行動 (cognition & behavior) などが情報技術とどのように結びついているか、教育環境をどのように変化させているかを探る。教育理論 (Theory)、Human computer interaction、教育心理 (Educational Psychology)、学習科学 (Learning Science)、認知発達学 (Cognitive Development)、遠隔教育 (Distance Learning) と関連する分野も交えて紹介する。一学期を通してコロンビア大学の学生と一緒にオンラインで学ぶ。Adobe Connect, Second Life にてグローバルなカリキュラムを作成する実験や課題などのグループワークも遠隔で取り組む。

The course examines the design and impact of information technology on social learning, cognition, and behavior. This course does not focus on information technology literacy education, or programming education. Rather, this course examines how information technology has increasingly shifted from a practical role of “working for us, instead of us” to a more social role, acting as a communication tool for learning. The course is novel in several ways, 1) the social components to technology, and how this influences social learning and behavior in various learning environments (e.g.,

Adobe Connect, Second Life), 2) Instead of seeing how technology can be applied for education, this course looks at “learning about people” using technology, and “how people learn” when technology is integrated into learning, 3) The course pulls learning theories from different fields associated to educational technology (e.g., educational psychology, distance learning, learning science, and instructional design), and 4) the course offers first hand experience of what it means to develop a global curriculum, by working collaboratively with Columbia University students (USA) majoring in instructional design and technology throughout the semester.

In many cases, culture, experience, values, and religious backgrounds are valuable resources to promote joint education and collaboration research, but often left out because of the difficulty in integrating it into existing curriculum and generic remote environments. Throughout the course we look at Content (language barrier, culture, religion, values), Resource (network bandwidth, digital divide, internet infrastructure) and Time differences will be integrated into the course so students can apply their knowledge when connecting overseas. To effectively design useful learning environments, participants need to consider both the network/technological resources available at each site (US and Japan), as well as student’s unique backgrounds. Learning and instruction will be designed and introduced from both the participant-centered matrix (e.g. learning, assessment, user preference) and the bandwidth/network resource-centered matrix (e.g. available technology/network resource in the region). An interesting finding may show how Information and Communication Technologies (ICT) influence learning, and culturally sensitive issues.

Course Objective:
The goal of the course is to introduce students to many of the ideas, theories, and practices associated with the field of educational technology, distance learning, and the development of a global curriculum. The course will be using a real-time remote learning environment (e.g., Adobe Connect). For a significant portion of this course SFC students will be collaborating with other students from overseas (i.e., Columbia University students (New York, USA)). The students will be working on a final project (in small groups) throughout the semester. The class will organize multiple joint activities (with students overseas) in addition to the lecture. By providing students with different testing grounds (e.g., Adobe Connect, Skype, Second Life), time zones, and developing a long term relation with students overseas, students can experience first hand what it means to create a global curriculum. During group work assignments, students will discuss possible solutions to future challenges in region-wide real-time learning environments.

allenges in region-wide real-time learning environments.